



平成30年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年11月10日

上場会社名 川西倉庫株式会社

上場取引所 東

コード番号 9322 URL <http://www.kawanishi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 若松 康裕

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 細川 晃伸

TEL 078-671-7931

四半期報告書提出予定日 平成29年11月13日

配当支払開始予定日

平成29年12月8日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	10,982	0.6	301	12.3	370	31.6	537	204.8
29年3月期第2四半期	11,044	0.3	268	33.5	281	26.4	176	27.9

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 570百万円 (%) 29年3月期第2四半期 24百万円 (88.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	70.70	
29年3月期第2四半期	23.20	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	28,917	17,620	57.2
29年3月期	28,081	16,233	56.9

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 16,543百万円 29年3月期 15,989百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		6.00	12.00
30年3月期		8.00			
30年3月期(予想)				6.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

配当金の内訳 記念配当 2円00銭

(平成30年3月期 第2四半期末配当金)

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	23,000	3.6	540	1.6	600	9.8	660	78.2	86.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成29年11月10日)公表いたしました「平成30年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想値の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期2Q	8,258,322 株	29年3月期	8,258,322 株
期末自己株式数	30年3月期2Q	650,292 株	29年3月期	653,708 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期2Q	7,606,093 株	29年3月期2Q	7,604,614 株

(注)自己株式数については、「株式給付信託(BBT)」制度に係る信託財産として、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)が所有している当社株式を含めて記載しております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.02「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢が改善する中、設備投資や個人消費に持ち直しの動きが見られるなど景気の回復基調が緩やかに続いております。世界経済においてもアメリカや中国で景気に持ち直しの動きが見られるなど回復傾向が続くと期待されますが、金融市場の動向や海外経済の不確実性など、景気の先行きは不透明な状況となっております。

物流業界におきましても、物流の合理化、高品質化への要求がますます強まり、輸出入貨物の減少や競争の激化等により、引き続き厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画『Vision2018・明日に向かって』で掲げる、流通加工等の物流サービスの強化等による既存事業の拡大・強化、新倉庫建設やASEAN地区への投資等の成長に向けた戦略的投資を行うなど、経営基盤の安定、強化に積極的に取り組んでまいりました。

当第2四半期連結累計期間においては、神戸港での港湾運送取扱業務の増加、前期に購入した信託物件の賃貸収入の増加、前期に連結子会社とした運送会社の業績が期初から寄与するなどの収入の増加要因もありましたが、前年同期に比べコーヒード豆や食料品の保管高の減少、国際物流業務における貨物の取扱いの減少などの収入の減少要因により、営業収益は前年同期を若干下回ることとなりました。営業利益は、前期に発生した信託物件の初期費用が減少したほか、再保管経費や修繕費等の経費が減少した影響により前年同期を上回り、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益も前年同期を上回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は前年同期比0.6%減少の10,982百万円、営業利益は前年同期比12.3%増加の301百万円、経常利益は受取配当金の増加により前年同期比31.6%増加の370百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は投資有価証券売却益408百万円の計上等により前年同期比204.8%増加の537百万円となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①国内物流事業

国内物流事業においては、前年同期に比べ普通倉庫貨物の入庫高は増加したものの、出庫高、保管高が低調に推移するほか、通関業務等の取扱いも前年同期を下回りましたが、冷蔵倉庫貨物の入出庫高が前年同期を上回ったほか、神戸港での港湾運送取扱業務の増加、物流施設の賃貸収入の増加、前期に連結子会社とした運送会社の業績が期初から寄与するなど、国内物流業務全体では営業収益は前年同期を上回りました。セグメント利益についても、前期に稼働した新倉庫の影響により減価償却費は増加しましたが、再保管経費や修繕費の減少等もあり前年同期を上回りました。

その結果、営業収益は前年同期比1.5%増加の9,280百万円、セグメント利益は前年同期比7.4%増加の595百万円となりました。

②国際物流事業

国際物流事業においては、貨物の取扱いが前年同期に比べ減少したほか、海外現地法人の業績が低調に推移するなど、営業収益は前年同期を下回り、セグメント利益についても前年同期を下回りました。

その結果、営業収益は前年同期比13.9%減少の1,498百万円、セグメント利益は前年同期比35.4%減少の29百万円となりました。

なお、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業並びに太陽光発電の売電事業等のその他事業は、営業収益は前年同期比30.2%増加の232百万円、セグメント利益は前期に発生した信託物件取得にかかる初期費用が減少したことにより前年同期比197.3%増加の134百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金は減少しましたが、新規投資により土地や建設仮勘定が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ836百万円増加し28,917百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、新規借入れにより長期借入金が増加しましたが、支払手形及び営業未払金の減少や短期借入金の減少等により前連結会計年度末に比べ551百万円減少の11,296百万円となり、また、当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益により利益剰余金が増加したほか、連結子会社の増資により非支配株主持分が増加したことにより、前連結会計年度末に比べ1,387百万円増加の17,620百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日(平成29年11月10日)に公表しました「平成30年3月期第2四半期業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想値の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,210,044	3,797,650
受取手形及び営業未収入金	3,215,654	3,454,798
繰延税金資産	99,011	100,567
その他	561,528	491,059
貸倒引当金	△434	△345
流動資産合計	8,085,803	7,843,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,279,811	7,109,114
機械装置及び運搬具(純額)	926,556	958,666
工具、器具及び備品(純額)	92,676	93,874
土地	4,960,856	5,649,289
リース資産(純額)	956,498	930,314
建設仮勘定	937,550	1,489,885
有形固定資産合計	15,153,950	16,231,144
無形固定資産		
港湾等施設利用権	1,897,534	1,897,534
その他	640,181	604,122
無形固定資産合計	2,537,715	2,501,657
投資その他の資産		
投資有価証券	1,108,096	1,164,361
長期貸付金	6,284	5,410
繰延税金資産	33,975	31,797
退職給付に係る資産	84,359	75,090
差入保証金	763,622	753,979
その他	311,374	314,113
貸倒引当金	△3,600	△3,600
投資その他の資産合計	2,304,113	2,341,151
固定資産合計	19,995,780	21,073,953
資産合計	28,081,584	28,917,684

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,783,609	1,534,613
短期借入金	1,711,643	1,036,905
未払法人税等	143,475	276,729
賞与引当金	245,066	252,632
役員賞与引当金	2,400	1,080
その他	341,836	351,874
流動負債合計	4,228,030	3,453,835
固定負債		
長期借入金	6,180,666	6,359,912
繰延税金負債	211,722	232,955
役員株式給付引当金	19,622	28,358
退職給付に係る負債	999,328	1,015,564
その他	208,723	206,153
固定負債合計	7,620,063	7,842,943
負債合計	11,848,094	11,296,779
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,108,000	2,108,000
資本剰余金	1,862,150	1,892,395
利益剰余金	12,247,734	12,739,285
自己株式	△585,809	△582,859
株主資本合計	15,632,075	16,156,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257,013	323,179
為替換算調整勘定	80,687	38,224
退職給付に係る調整累計額	20,124	25,220
その他の包括利益累計額合計	357,825	386,625
非支配株主持分	243,588	1,077,458
純資産合計	16,233,490	17,620,904
負債純資産合計	28,081,584	28,917,684

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業収益	11,044,098	10,982,757
営業原価	9,808,213	9,614,174
営業総利益	1,235,885	1,368,583
販売費及び一般管理費	967,518	1,067,284
営業利益	268,366	301,299
営業外収益		
受取利息	1,177	7,509
受取配当金	36,407	80,867
不動産賃貸料	8,445	7,897
その他	7,603	7,393
営業外収益合計	53,633	103,667
営業外費用		
支払利息	27,657	26,311
為替差損	12,679	4,398
その他	—	3,685
営業外費用合計	40,337	34,394
経常利益	281,662	370,572
特別利益		
固定資産売却益	2,839	16,178
投資有価証券売却益	—	408,450
特別利益合計	2,839	424,628
特別損失		
固定資産売却損	325	—
固定資産除却損	503	2,226
役員退職慰労金	1,105	—
厚生年金基金解散損	12,391	—
特別損失合計	14,324	2,226
税金等調整前四半期純利益	270,177	792,974
法人税、住民税及び事業税	90,653	264,610
法人税等調整額	△5,067	△9,634
法人税等合計	85,586	254,976
四半期純利益	184,591	537,998
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,146	218
親会社株主に帰属する四半期純利益	176,444	537,780

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	184,591	537,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△41,577	66,166
為替換算調整勘定	△133,047	△38,681
退職給付に係る調整額	14,312	5,096
その他の包括利益合計	△160,311	32,581
四半期包括利益	24,279	570,580
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	37,860	566,581
非支配株主に係る四半期包括利益	△13,580	3,998

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	270,177	792,974
減価償却費	335,644	383,128
のれん償却額	2,352	4,698
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△124	△89
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,432	7,566
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△850	△1,320
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	34,590	32,847
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	—	8,736
受取利息及び受取配当金	△37,584	△88,377
支払利息	27,657	26,311
有形固定資産除却損	503	2,226
有形固定資産売却損益(△は益)	△2,514	△16,178
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△408,450
売上債権の増減額(△は増加)	16,015	△239,143
仕入債務の増減額(△は減少)	△180,556	△248,995
その他	26,040	142,606
小計	507,785	398,541
利息及び配当金の受取額	37,383	88,873
利息の支払額	△28,249	△26,843
法人税等の支払額	△119,951	△137,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	396,967	323,445
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△63,600	△112,168
有形固定資産の取得による支出	△2,592,055	△1,529,852
無形固定資産の取得による支出	△20,968	△1,840
有形固定資産の売却による収入	4,018	20,260
投資有価証券の取得による支出	△1,861	△1,964
投資有価証券の売却による収入	—	449,550
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△210,836	—
長期貸付金の回収による収入	854	874
差入保証金の差入による支出	△2,653	△8,237
差入保証金の回収による収入	19,258	18,478
その他	2,398	△1,365
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,865,445	△1,166,265
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	1,316	△699,737
長期借入れによる収入	3,180,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△273,254	△295,754
自己株式の取得による支出	—	△186
自己株式の処分による収入	—	3,136
配当金の支払額	△45,627	△46,230
非支配株主への配当金の支払額	△244	△244
非支配株主からの払込みによる収入	—	905,250
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△44,890
その他	△100	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,862,090	321,343
現金及び現金同等物に係る換算差額	△80,100	△5,933
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	313,511	△527,410
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	33,677	—
現金及び現金同等物の期首残高	4,667,556	4,040,721
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,014,746	3,513,310

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	9,145,876	1,739,707	10,885,584	158,514	11,044,098	—	11,044,098
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	20,347	20,347	△20,347	—
計	9,145,876	1,739,707	10,885,584	178,862	11,064,446	△20,347	11,044,098
セグメント利益	554,266	46,176	600,443	45,274	645,717	△377,351	268,366

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△377,351千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△375,155千円及びその他の調整額△2,195千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内物流	国際物流	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	9,280,828	1,498,202	10,779,031	203,726	10,982,757	—	10,982,757
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	29,204	29,204	△29,204	—
計	9,280,828	1,498,202	10,779,031	232,931	11,011,962	△29,204	10,982,757
セグメント利益	595,308	29,843	625,152	134,581	759,734	△458,434	301,299

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、太陽光発電による売電事業、不動産の賃貸事業及び物流資材の販売事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△458,434千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△453,697千円及びその他の調整額△4,737千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。